

第19回住宅セミナーが開催されました。

2月4日（土曜日）快晴、大分大学工学部助教 工学博士の黒木正幸先生をお迎えして『ブロック塀耐震診断講習会』を、日田木材協同組合2階会議室にて、午後2時から10分間の休憩を挟んで2時間の講習を頂きました。講習会は建築士会員20名、一般17名の37名の参加があり、予定時間をオーバーしての内容の濃い講習会となりました。

前半は「ブロック塀の基準と地震被害」で、阪神淡路大震災や東日本大震災、1975年大分県中部地震の写真やデータ、図解を使って、現在のブロック塀の設置状況と震災時の倒壊状況、倒壊する確率、ひとたび震災が起きれば今の塀の30%は倒壊するというデータも有り、住民の意識、倒れたブロックの重量やその破壊力による人命被害、緊急車両の通行障害で救命活動の支障となる事は、特に身近な問題として記憶に残りました。またブロック塀の問題点として、住民は耐震診断の方法を知らない、補強方法が解らない、費用が掛かるので放置している、と言う問題が挙げられました。

後半は日本建築学会の耐震診断指針（2014年発行）を使っての講習で、基礎コンクリート、基礎の根入れ、鉄筋の入り方が悪く倒壊した例、危険なブロック塀の具体的な計測方法、模型を使っての正しい積み方など解りやすい講習となりました。講習会が終わっての質疑では、一般の参加者から「ブロック塀の目地から白い粉が吹いている。大丈夫ですか？」「ブロックは何年持ちますか？」「日田市のブロック塀は大丈夫ですか？」など、つい4時間前に日田市に到着した先生には申し訳ないと思えるような質問も、丁寧にお答えいただきました。鈴木支部長の謝辞で締めましたが、講習が終わってからも熱心に聞く参加者もいて最後までとても有意義な講習会でした。

その後、先生には木材の町と言う事もあり、木協木材や日田杉の館、現場見学会場（ウッドコンビナート木材加工施設建設現場）を鈴木支部長にお連れ頂きました。以上報告致します。



講習会前
待機する黒木先生です。



講習会場の様子です
後方にTOSさんが来ています。
大分建設新聞社さんも来ています。



質問を受ける黒木先生



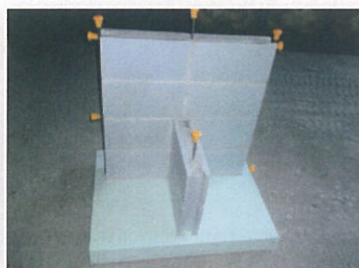
質問する羽野さん（土会員）



余談ですが、当日は2月14日のバレンタインデーだったので、後藤氏の発案でチョコレートを頂くことができました。
ありがとうございました。



講習会後、熱心に質問する参加者



ブロック塀の模型です。
発砲スチロールのブロックと軽量モルタル、鉄筋φ30@400で本職が作りました。
(嫁入り先募集中です)